

## 《ご挨拶》

今夏の北海道は、暑い日もありましたが比較的過ごしやすい日々でした。また現在は、例年のように爽やかな季節を迎えています。しかし、本州では記録的な猛暑や豪雨に見舞われ、大きな被害を受けた地方の一日も早い復興を願わずにはられません。

本学では、1年次の海外語学留学プログラムの参加学生が、既に中国の山東大学（威海）および煙台大学へ、韓国の大田大学校へと出発しています。そして、約5ヵ月間にわたって、3大学のキャンパスで留学プログラムを受講し、勉学に励むことになります。また、両国の学生と机を並べて学ぶことから多くの友人ができて、現地の文化・習慣に触れて大きく成長して来年帰国します。一方、中国と韓国からの留学生が来学し、授業やイベントを通して本学の学生との交流が盛んです。さらに、カナダのレスブリッジ大学との学生交換事業によって、国際色に満ちた教育環境が形成され、それが本学の特徴となっています。

本学では、その特徴を活かした公開講座を毎年開催しています。その目的は、建学の精神である「地域に根ざした開拓者精神の涵養」に基づき、地域社会との結びつきを深めようとするものです。また、教育目標が「アジアの時代にアジアを学ぶ」ことに置かれ、現代社会の急速なグローバル化に対応した先駆的研究や、学外の研究機関との研究交流が実践されていることを、広く皆様にご覧になっていただくためです。お陰様で毎回多数の市民のご参加があり、講演後は活発な質疑応答も行われて、大変有難く感じている次第です。本年度後期の講師は、中国国務院直属で最高学術機構である中国社会科学院の研究者、在札幌大韓民国総領事館総領事、内閣府観光カリスマの方々、文字の歴史研究の専門家、さらに本学の教授となっています。

現代社会では、かつてないほど生涯学習の社会的ニーズが高まり、何時でも何方でも学習できる場として、より一層大学は開かれたものでなければなりません。本学は時代の動向をよく把握し、北海道における地域社会の問題解決に向けて、皆様のご要望に応えられる多様な公開講座を開催していく所存です。また、公開講座を皆様との意見交換の場とも考えておりますので、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 10月吉日  
北海商科大学 学術発展センター  
センター長 田辺 隆司



### 北海商科大学へのアクセス

#### ◆地下鉄東豊線

「学園前」駅 4番出口直結

#### ◆地下鉄南北線

「中島公園」駅 1番出口より徒歩15分

「平岸」駅 1番出口より徒歩15分

#### ◆地下鉄東西線

「菊水」駅 6番出口より徒歩12分

#### ◆じょうてつバス

真駒内本町方面から **環56**

(「中の島駅前」経由・「平岸駅前」経由)「学園前駅」  
停留所下車すぐ

学校法人 北海学園  
**北海商科大学**

# 北海商科大学 2019年度 後期 公開講座

[道民カレッジ連携講座 教養コース]

## 東アジアにおける 時代の趨勢を読む

全5回

- 場 所 北海商科大学1号館8階会議場  
※第2回のみ、本学2号館5階多目的ホール
- 期 間 10月19日(土)～12月7日(土)
- 時 間 10:30～12:30
- 対象者 一般 (学生を含む)
- 受講料 無料 (申し込み不要)

主催 北海商科大学  
共催 北海学園北東アジア研究交流センター(HINAS)、中国  
社会科学院(CASS)・中国国務院発展研究センター  
(DRC)、北海商科大学開発政策研究所(DPRI)

《 北海商科大学 2019年度後期公開講座 》  
東アジアにおける時代の趨勢を読む

第1回 10月19日±

中国雲南省ナシ族・トンバ文化の行方  
— 伝統文化継承の実情 —  
北海商科大学教授 山田 勅之

アジアの北海道観光人気は持続的か？  
— コンテンツ・ツーリズムにその可能性をもとめて —  
北海商科大学准教授 伊藤 寛幸

第2回 11月2日±

※第2回のみ会場が変わります。  
会場：本学2号館5階多目的ホール

中国の経済成長の転換  
中国社会科学院・世界経済政治研究所  
グローバルマクロ経済研究室主任  
張 斌

日中共同研究の意義 北海商科大学教授 西川 博史

第3回 11月9日±

多国籍化の進むニセコと子供達  
リゾートプロデューサー 内閣府観光カリスマ 松橋 京子  
ニセコ・アドベンチャー・センター代表取締役 内閣府観光カリスマ  
ロス・フィンドレー

第4回 11月16日±

日韓関係：葛藤から共同繁栄の未来に向けて  
在札幌大韓民国総領事館総領事 朴 賢圭  
コメンテーター／北海商科大学准教授 李 鳳

第5回 12月7日±

「无・無・ん」和語になかった撥音「ん」の成立と定着  
國學院大學北海道短期大学部講師 紅林 幸子  
コメンテーター／北海商科大学教授 西川 博史

【開催回順、近年の研究業績】  
講師紹介

《学外講師》

- 張 斌  
(中国社会科学院・世界経済政治研究所  
グローバルマクロ経済研究室主任)
- 松橋 京子 (リゾートプロデューサー 内閣府観光カリスマ)
- ロス・フィンドレー  
(ニセコ・アドベンチャー・センター代表取締役 内閣府観光カリスマ)
- 朴 賢圭 (在札幌大韓民国総領事館総領事)
- 紅林 幸子 (國學院大學北海道短期大学部講師)

《学内講師》

- 山田 勅之 (北海商科大学教授)  
専攻：観光文化論、歴史学  
近著：『入門観光学』、ミネルヴァ書房、2018年 (共著)
- 伊藤 寛幸 (北海商科大学准教授)  
専攻：アグリツーリズム、地域計画学、環境経済学  
近著：『観光資源としてのふれあいファームの地域特性分析』、  
北海道地域観光学会誌、第5巻第1号、2018年 (単著)
- 西川 博史 (北海商科大学教授)  
専攻：東アジア経済論、現代中国経済論  
近著：『戦中戦後の中国とアメリカ・日本』、HINAS、2014年 (単著)
- 李 鳳 (北海商科大学准教授)  
専攻：韓国語学、日本語学、日韓対照研究  
近著：『「許可求め」の使役形の「(サ)セル」と「-게 하다」-ヘッジ  
とポライトネスの観点から-』、『韓国語教育研究』、日本  
韓国語教育学会、第7号、2017年 (単著)

場 所 / 北海商科大学1号館8階会議場

※第2回のみ会場が変わります。  
▶本学2号館5階多目的ホール

時 間 / 10:30～12:30

対象者 / 一般 (学生を含む)

受講料 / 無料 (申し込み不要)

お問い合わせ先

北海学園北東アジア研究交流センター(HINAS)  
〒062-8607 札幌市豊平区豊平6条6丁目北海商科大学1号館8階

TEL:011-841-1108 FAX:011-841-1109

E-mail / hinas@hokkai.ac.jp

《道民カレッジ連携講座 教養コース》



2019年度前期公開講座の模様